

日中経済交流研究会新聞

プラスワン委員会「ベトナム」訪問レポート

～チャイナプラスワンとしてのベトナムの現状はいかに？～

日 程 2018年9月20日～9月25日 / 訪問先 ベトナム（ホーチミン）

参加人数 6名（会員4名 オブザーバー2名）

今年度、日中経済交流研究会の新しい委員会として発足した「プラスワン委員会」の有志メンバーが、活動の一環としてベトナム・ホーチミンを訪問。現地企業や外国人技能実習生の採用面接の様子などを見学してきました。

訪問先① 海外進出サポート事業 【FORVAL VIETNAM CO., LTD.】

（株）フォーバルの新規事業として2008年ごろより準備を始め、2010年よりカンボジア、インドネシア、ベトナム、ミャンマーに現地法人を設立し、海外進出支援事業を開始。ベトナムでは、進出支援、現地パートナーの紹介、現地販路の開拓、レンタル工場の運営を行っています。ベトナムだけでなく、周辺諸国の事情なども聴けたので、大変参考になりました。

訪問先② 製造拠点として進出 【（株）三栄金属製作所 SAN-EI VN CO.,LTD.】

2013年よりレンタル工場で操業開始、2018年6月より自社工場へ移転。

借入金の一部は国際協力銀行（JBIC）を使った協調融資を利用。同社は、大手住設メーカー向けの商品を製造しているが、日本ではアボを取ることも難しい大手企業でも、海外では現地の意思決定者と比較的容易に会うことができ、トップ営業をすることができることのメリットを強調されていました。



訪問先③ CAD / CAMデータ作成 【（有）野田技研 ベトナム】

野田社長自身が海外に興味あり、先輩経営者の背中を見ていつか海外で仕事がしたいとの思いで創業。日本で行っていたCAD/CAMデータ作成を現地の安い労働力で行っています。

野田技研では創業以来、頑張ってきたベトナム人メンバーがおり、人員確保が難しいからと、簡単に会社を閉じ

ることはできない。広い視野で事業を覗いていく必要性を語っておられました。

訪問先④ プラスチック押し出し射出成型 【VINA MELT TECHNOS CO.,LTD】

同社は、昭和化成工業（株）の子会社「昭和アルパックス」の海外子会社で、昭和化成工業が買収した会社が既に海外拠点として所有。社長の原氏いわく「従業員は真面目であり、そこそこ明るい。特に女性はよく働く。会社への帰属意識も中国人よりはる。人件費も上がり基調で募集にも集まりにくさはあるものの、まだしばらくはベトナムでの製造は継続して行う予定」ということでした。

訪問先⑤ 業務用攪拌機の部品調達および製造 【阪和化工機株式会社 ベトナム工場】

工場は、阪和化工機と中農製作所（いずれも大阪同友会）の共同運営。2013年よりホーチミンに進出。上海で得た経験と国際感覚で、堅実な運営をされている印象をうけました。納得できる品質を選びぬくため、ベトナム中の鋳物業者 50数社をまわってトライ&エラーを繰り返し、現在では安定した品質の製品を安価に調達することに成功されています。

訪問先⑥ ベトナム人技能実習生送り出し機関 【MIRAI HUMAN】

創業者のタイン氏は、自身がベトナム人技能実習生として来日、西淀川区の製缶業者で3年勤務した経験があるそうです。今回は、同委員会の委員長中野氏（カワモト・マニュファクチュアリング株式会社）が実際に採用する実習生との面接を行うということで、参加者も見学させていただきました。実習生を受け入れる予定のなかった参加者にとっても、とても刺激的な体験だったと思います。

まとめ

現地に進出して苦労されている経営者の言葉は、真実に満ちています。日本にいて数字や文章で知るのは大違いの現実を、私たちは知ることができます。これからの経営は、その最低限の努力を怠ってはならないと思います。

当研究会でもこうした「プラスワン」の取り組みを継続していければと思います。

取材・文章 日中経済交流研究会 プラスワン委員会 / 広報委員